

こうざ えもんつうしん 講左衛門通信

平成26年7月13日

第25号

発行 天台宗忍草山東円寺
〒401-0511
南都留郡忍野村忍草38
☎ 0555-84-4114

『講左衛門さん、今日は、6月28日の朝日新聞の記事について、話してほしいでまっすん。新聞記事には、湧池の水が宇宙に行ったことが掲載されていたでまっすん。』

『そうじゃな。1982年7月、朝日新聞の企画で NEC が設計した人口雪実験装置の技師だった上宮田四男さんは、湧池の水を汲みに来たんじゃ。この水は、1983年9月宇宙を飛ぶスペースシャトルチャレンジャーに持ち込まれて、「宇宙の初雪」となったんじゃよ。今から、32年前の話じゃ。今回、この記事が掲載されることになったのは、朝日新聞の記者が、富士山文化遺産の構成資産である産忍野八海を紹介するため、東円寺の住職に取材があったんじゃ。住職がイコモス（国際記念物遺跡会議）の専門家たちに、湧池の水が宇宙で雪になったという話をしたことを聞き、この水を汲んだ上宮田さんの所在を探すことから始まったんじゃよ。』

『上宮田さんの所在はすぐに分かったでまっすん？なぜ、湧池の水にしたでまっすん？』

『人口雪実験は、朝日新聞の企画じゃったから、当時の記者と連絡を取り、難なく上宮田さんとは連絡が取れたようじゃ。上宮田さんは6月24日東円寺に来寺され、当時の貴重な話を聞かせてくれたんじゃよ。宇宙に持って行く水を湧池の水にした理由は、山歩きの大好きな上宮田さんならではの発想だったかもしれんな。日本の富士山は世界でも有名で、その雪解け水ならば話題になる。富士の雪解け水で思い浮かんだのが忍野八海だったそうじゃ。忍野八海や湧池には、水を汲みにきた時初めて訪れたそうじゃ。上宮田さんの想像通り、ケネディー宇宙センターの研究者たちは、富士山の雪解け水であることにとっても感激したそうじゃ。』

『湧池の水は、宇宙で雪になったでまっすん。ロマンがあるでまっすん。』

『その昔、富士山は霊山であった。修験道にとって霊験あらたかな富士に登山することは、富士の霊力を取得できると信じられていた。富士山に登る前の禊（みそぎ）は、大切な儀式だったんじゃ。湧池の存在は、そのような意味でも重要な役割があったんじゃよ。』

『忍野八海は信仰の池であった証拠があるでまっすん。けれど、観光客は、忍野八海が信仰の池である事を知らないで帰ってしまうでまっすん。残念でまっすん。湧池の水が宇宙に行った話も、皆に知ってほしいでまっすん。これからも、情報を発信するでまっすん。』

『継続が大事じゃからな。さて、次号は、忍野八海から富士山に登るための巡礼路についての話をしようかのう・・・』

『とても興味深いはなしでまっすん。楽しみにしているでまっす。』

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん・・・



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは富士山案内責任者)

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定